



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 菊本 善夫

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	23,546	7.0	2,136	14.0	2,789	17.9	2,103	45.2
29年3月期第3四半期	22,011	△5.1	1,873	9.2	2,365	△3.2	1,449	△28.4

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 3,357百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	154.92	—
29年3月期第3四半期	106.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	44,139	32,132	68.3	2,219.54
29年3月期	40,560	29,318	67.9	2,028.73

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 30,136百万円 29年3月期 27,545百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	7.1	2,700	10.8	3,400	12.7	2,200	29.6	162.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	13,900,065 株	29年3月期	13,900,065 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	322,503 株	29年3月期	322,176 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	13,577,735 株	29年3月期3Q	13,669,833 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業業績や雇用環境の改善を背景として、緩やかな回復が続きました。世界経済も、北朝鮮の地政学的リスク等一部に不安定要素がありますが、総じて底堅く推移しました。

このような状況下、当社製品の主要ユーザーである自動車メーカーによる自動車生産台数は国内及び海外の多くの国において堅調に推移した結果、当社の業績も改善傾向となりました。売上高は、4つのすべての地域セグメントで増加し、前年同期比7.0%増の23,546百万円となりました。利益については、売上が増加した一方で、原材料価格が全体として安定的に推移した結果、営業利益は前年同期比14.0%増の2,136百万円、経常利益は前年同期比17.9%増の2,789百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と異なり当期は特別損益の発生がなかったため、前年同期比45.2%増の2,103百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

#### ①日本

自動車生産台数の増加を背景として拡販を進めた結果、セグメント売上高は前年同期比5.4%増の12,754百万円となりました。セグメント利益は、販売数量増加の効果に加えて価格改定による収益改善の結果、前年同期比47.5%増の879百万円となりました。

#### ②南北アメリカ

アメリカでは自動車需要が低調に推移する中、アメリカ子会社の売上は概ね前期並となりました。一方、メキシコとブラジルの子会社が大きく売上を伸ばした結果、セグメント売上高は前年同期比8.5%増の4,272百万円となりました。セグメント利益は、アメリカ子会社が販売力強化に向けた支出増のため減益となりましたが、メキシコ子会社が良好な市場環境の中で利益を伸ばし、ブラジル子会社が前年同期の営業赤字から黒字転換した結果、前年同期比12.3%増の430百万円となりました。

#### ③中国

中国子会社は、当第1四半期以降徐々に持ち直しの動きを見せており、セグメント売上高は前年同期比4.2%増の3,201百万円となりました。一方、セグメント利益は原材料単価上昇による影響が大きく、前年同期比29.7%減の337百万円となりました。

#### ④東南アジア/インド

当セグメントに属するタイ、マレーシア、インド、インドネシアの子会社の業績はいずれも堅調に推移し、セグメント売上高は前年同期比14.6%増の3,317百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に大幅な赤字を計上したインド子会社の収益改善の影響等により、前年同期比23.3%増の485百万円となりました。マレーシア子会社では、国内だけでなくベトナム、フィリピン等の有望市場への供給能力強化のため新工場の建設を進めていましたが、この度完成し、平成29年12月より稼働を開始しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、44,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,579百万円増加しました。主な要因として、「長期預金」が169百万円、「無形固定資産」が94百万円減少したものの、「投資有価証券」が1,807百万円、「受取手形及び売掛金」が694百万円、「有形固定資産」が616百万円、「原材料及び貯蔵品」が345百万円、「商品及び製品」が260百万円増加したことによります。

負債は、12,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ764百万円増加しました。主な要因として、「未払法人税等」が250百万円、「賞与引当金」が217百万円、「長期借入金」が106百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が992百万円、「繰延税金負債」が412百万円が増加したことによります。

純資産は、32,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,814百万円増加しました。主な要因として、「利益剰余金」が1,560百万円、「その他有価証券評価差額金」が920百万円、「非支配株主持分」が224百万円、「為替換算調整勘定」が92百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の見直しを行った結果、平成29年5月12日付当社「決算短信」にて発表しました平成30年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、平成30年2月7日に公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,177	8,207
受取手形及び売掛金	6,021	6,716
商品及び製品	1,419	1,680
原材料及び貯蔵品	1,800	2,146
繰延税金資産	198	195
その他	315	321
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	17,913	19,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,867	4,407
機械装置及び運搬具（純額）	1,131	1,165
工具、器具及び備品（純額）	238	301
土地	5,106	5,115
リース資産（純額）	15	10
建設仮勘定	862	839
有形固定資産合計	11,222	11,838
無形固定資産		
投資その他の資産	551	457
投資有価証券	9,736	11,544
保険積立金	578	615
長期預金	338	168
繰延税金資産	2	2
その他	235	286
貸倒引当金	△19	△21
投資その他の資産合計	10,872	12,595
固定資産合計	22,646	24,891
資産合計	40,560	44,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,464	4,457
短期借入金	1,703	1,719
リース債務	21	19
未払金	830	726
未払消費税等	48	33
未払法人税等	374	123
賞与引当金	505	288
役員賞与引当金	33	18
その他	862	1,044
流動負債合計	7,843	8,431
固定負債		
長期借入金	660	553
リース債務	81	70
繰延税金負債	667	1,079
役員退職慰労引当金	151	91
厚生年金基金解散損失引当金	294	275
退職給付に係る負債	1,293	1,276
長期預り保証金	167	170
資産除去債務	16	16
その他	65	41
固定負債合計	3,397	3,575
負債合計	11,241	12,006
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,046	4,046
利益剰余金	20,544	22,104
自己株式	△426	△426
株主資本合計	28,413	29,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,514
為替換算調整勘定	△2,417	△2,325
退職給付に係る調整累計額	△44	△26
その他の包括利益累計額合計	△867	162
非支配株主持分	1,772	1,996
純資産合計	29,318	32,132
負債純資産合計	40,560	44,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	22,011	23,546
売上原価	14,841	15,907
売上総利益	7,170	7,638
販売費及び一般管理費	5,297	5,502
営業利益	1,873	2,136
営業外収益		
受取利息	83	66
受取配当金	59	69
為替差益	—	37
持分法による投資利益	422	443
その他	78	74
営業外収益合計	642	691
営業外費用		
支払利息	19	22
為替差損	94	—
その他	37	16
営業外費用合計	151	38
経常利益	2,365	2,789
特別利益		
投資有価証券売却益	78	—
特別利益合計	78	—
特別損失		
固定資産除売却損	34	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	294	—
特別損失合計	329	—
税金等調整前四半期純利益	2,114	2,789
法人税等	407	482
四半期純利益	1,706	2,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	257	203
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	2,103



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,706	2,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	658	920
為替換算調整勘定	△1,735	49
退職給付に係る調整額	23	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△718	63
その他の包括利益合計	△1,772	1,050
四半期包括利益	△65	3,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	3,133
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,104	3,939	3,072	2,895	22,011	—	22,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	689	1	31	20	742	△742	—
計	12,793	3,940	3,104	2,916	22,754	△742	22,011
セグメント利益	596	382	480	393	1,853	19	1,873

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額19百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が21百万円、未実現利益の消去が5百万円、のれん償却額が△7百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,754	4,272	3,201	3,317	23,546	—	23,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	801	3	26	50	881	△881	—
計	13,556	4,275	3,227	3,368	24,428	△881	23,546
セグメント利益	879	430	337	485	2,133	3	2,136

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額3百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が10百万円、のれん償却額が△7百万円であります。